



シラカバ [白樺]

(シラカンバ)

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 カバノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、幹肌が観賞ポイント

中部地方以北の寒冷地に自生し、白い樹肌と秋の黄葉が魅力的な樹。パイオニア植物（崩壊地などの裸地に最初に進出する植物）のため、生育が極めて速く寿命が短い。暖地では、比較的暑さに強い品種のジャク・モンティーが利用できる。数本並べるとシラカバ林の景になる。



Memo

シラカバなどカバノキ科の植物の樹液から「キシリトール」が発見され甘味料として利用されている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期				■ (鑑賞には向かない)								
果	実										■		
黄	葉										■		
施	肥	(早期に大木になるので施肥は控える)											
剪	定	■											■


好みの環境		陽	◎	×	陰
日当り	陽	◎		×	陰
土壌	乾	○	○		湿
寒さ	強	◎			弱
暑さ	強			○	弱
潮風	強			○	弱


観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○				○		

ポイント 本来、冷涼地に生育する樹。そのため、温暖地では管理対策が必要になる。日当たりと水はけを良くし、夏の日差や西日、道路からの輻射熱を緩和するなど生育しやすい環境にするとよい。

剪定 幹や枝が太くなってからの剪定は枝枯れしやすく、自然樹形を損なう。先を見越して、早目の枝抜き剪定がお薦め。切り口から菌類や細菌に感染しやすいので、切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布する。

病虫害 気温の高くなる平地では病虫害を受けやすい。なかでも、テッポウムシ（カミキリムシの幼虫が幹に穴をあける）の被害が目立つ。幹下に木屑を見つけ次第駆除する。

呼べる鳥  [アトリ](#)・[マヒワ](#)・[シメ](#)・ハギマシコ

呼べる蝶  [ナミアゲハ](#)・キベリタテハ
エルタテハ・ムモンアカシジミ